

令和元年5月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

1. 四日市港

輸出額は「自動車」などは増加したものの、「プラスチック」、「鉱物性タール及び粗製薬品」などが減少したことから対前年同月比3.3%の減少となった。また、輸入額は「液化石油ガス」などが増加したものの、「原油及び粗油」、「液化天然ガス」などが減少したことから、同15.9%の減少となった。

その結果、差引額は576億円（同27.1%の減少）となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	680億円	▲3.3%	1,255億円	▲15.9%	▲576億円	▲27.1%
6カ月ぶりの減少			3カ月ぶりの減少			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率	
輸出	増加品目	(1) 自動車	29億円	11倍	増加品目	(1) 液化石油ガス		50億円	+42.9%	
		(2) 荷役機械	23億円	12倍		(2) 石油製品		53億円	+24.2%	
		(3) 石油製品	125億円	+12.5%		(3) 非鉄金属鉱		27億円	+33.0%	
	減少品目	(1) プラスチック	41億円	▲24.8%	輸入	(1) 原油及び粗油		630億円	▲25.3%	
		(2) 鉱物性タール及び粗製薬品	38億円	▲25.4%		(2) 液化天然ガス		211億円	▲13.7%	
		(3) 有機化合物	44億円	▲21.7%		(3) 石炭		31億円	▲32.0%	
	地域別動向					地域別動向	減少：中東、アフリカ 増加：アジア			
	減少：アジア、中南米 増加：大洋州									

（参考）ドルレートは、111.07円（前年同月比1.8%、1.99円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

（注）本資料中の伸率及び増減表記は、前年同月との比較による。